

- 東北の観光は、インバウンドの全国的な急増の流れから大幅に遅れている。
- 平成28年を「東北観光復興元年」として、観光復興関連予算を大幅に増額。  
令和2年までに東北6県の外国人宿泊者数を150万人泊とすることを目標に設定。
- 福島においては、**教育旅行の回復**や**外国人観光客の誘客拡大**に向けた取組を実施。


## 復興庁の主な事業（R2FY：約37億円）

- 東北観光復興対策交付金【観光庁】**（R2FY予算：21億円）
  - －地域の発案に基づくインバウンド誘客に向けた取組を支援。
  - －東北各県が東北観光推進機構等と連携して行う広域的な取組を促進。
- 東北観光復興プロモーション【観光庁】**（R2FY予算：10億円）
  - －全世界を対象としたデスティネーション・キャンペーンとして、東北を対象とした集中的な訪日プロモーションを実施。
- 「新しい東北」交流拡大モデル事業【復興庁】**  
（R2FY予算：3億円）
  - －平成28～30年度に実施したモデルを普及・展開、外国人旅行者の更なる誘客に繋がるビジネスモデルの構築支援。
  - －平成30年度から、地域型を創設。復興局主導で、被災沿岸部等の事情に応じたビジネスモデル構築を目指す。
- 福島県観光関連復興支援事業【観光庁】**（R2FY予算：3億円）
  - －福島県が実施する教育旅行の誘致を含めた国内観光振興に関する取組を支援

## 福島復興局における主な取組


- 交流拡大モデル事業**（R2FY予算：3億円の内数）
  - －これまで、外国人向けの旅行商品を造成・販売する実証事業を実施。

【テーマ：震災学習】


  - －福島県が推進する浜通りにおける学びのツアー「ホープツーリズム」の外国人向け旅行商品の造成販売、ガイド研修を実施。

通訳ガイドによる案内の様子

【テーマ：風評払拭・魅力発信型】

  - －震災学習要素に加え沿岸部被災地域の新たな魅力の発信に繋がる観光資源を組み込んだ旅行商品の造成販売を実施。
  - －中通り・浜通りにおける「サムライ」コンテンツの磨き上げし、外国人誘客を通じて、県全域の「サムライ」ブランドの確立を目指す。

請戸におけるツアーの様子



二本松城におけるツアーの様子